

# NEWSLETTER

THE JAPANESE SOCIETY FOR  
PARAPSYCHOLOGY

JANUARY 1978

No. 1

## ★<sup>120</sup> 回 月例研究会

本年最初の月例研究会は1978年1月13日(1730~2100)学士会館本館にて開かれ、志島より長嶋先生、大阪より杉谷先生を参加され活発な討議が行われました。その結果本年度の計画について、下記の事項が決定されました。

1. 第11回年次大会：本年8月5(土)6(日)日の両日、関西地区(場所未定)において開催、引き続き夏期研修会と開く。大会委員長を長嶋綱典先生(志島県加計町立病院)にあずかり、実行計画の細部及び実施について関西地区の会員の皆様の御意見をいただくことになりました。

後刻、大会委員長より御連絡が来ると思いますが、最初の関西での大会を十分に充実したものにしたいと思っております。皆様の御力を添えをお願いいたします。

2. 日台 ESP 遠距離実験：中華民国超心理学研究会と共同で、日台間にて ESP の遠距離実験を実施することを計画しております。計画立案中です。実施には皆様の御協力をお願いいたします。

3. 輪読会の開催：“Handbook of Parapsychology” Ed. Wolman, B, '77, 960p. (Van Nostrand Reinhold, N.Y.) ¥9,800.- が発行されましたので、会費を半分に減額させていただきます。多くの皆様の参加を期待しております。

## ターゲットを海中に置いた ESP 実験

大谷 宗司

海中にいる潜水艇に ESP target を置き、これを陸上から guess して ESP 効果が検出されたか否かを調べた。ターゲットは a) ESP symbols, b) 1~5 の数字(後に ESP symbol に変換), c) 予知的条件の 3 種、これを陸上に置く場合(A), と海中に置く場合(B)について行った。被験者は大学生(男子)96名、target と被験者の距離は(A)で約 200~500 m, (B)で 43~407 miles、深度は

約 50 m であった。target (a) 条件(B)で psi missing が観察された。(次表)

A				B			
Runs	Hits	Dev.	Av.	Runs	Hits	Dev.	Av.
229	1116	-29	4.87	834	3957	-213*	4.74

\* CR: 3.687, P: 0.002

position effect を target type により差異がみられ、被験者の反応時刻により得点に違いが観察された。被験者の性格特性と得点との関係は分析中である。

## お知らせ

★121回月例研究会 下記要領で行います

1978年2月10日(金) 1730~2100(1830)会合

会 址 学士会館本館 東京・代田区錦町 7-28. 03-292-5931

報告 psi に対する心理学的アプローチ

後藤 ひと子 (早稲田大学)

★2次ハフコック ESP 実験 大谷 宗司

議題 第11回大会 細部計画について

日台 ESP 遠距離実験 実施要領

出席予定の方は 2月7日までにハフコック社に電話して連絡下さい。 午後 時間厳守をお願いいたします。

NEWSLETTER 1978年1月13日発行 ©

編集・発行：日本超心理学会